

飛騨高山の魅力を 発信するための仕組みの提案

－ 奥飛騨ビジターセンターにおける
インタープリテーション活動 －

文教大学 国際学部 黛ゼミナール

三森いずみ 米本俊太郎 篠原美咲 坂田真桜

本発表の意図

奥飛騨ビジターセンターに多様なプログラムを設け、
観光客が気軽に参加申し込みできる。



地元住民の自慢の自然や地域資源、生活慣習を
インタープリテーションによって伝え、
観光客に奥飛騨の魅力の虜になってもらうこと。

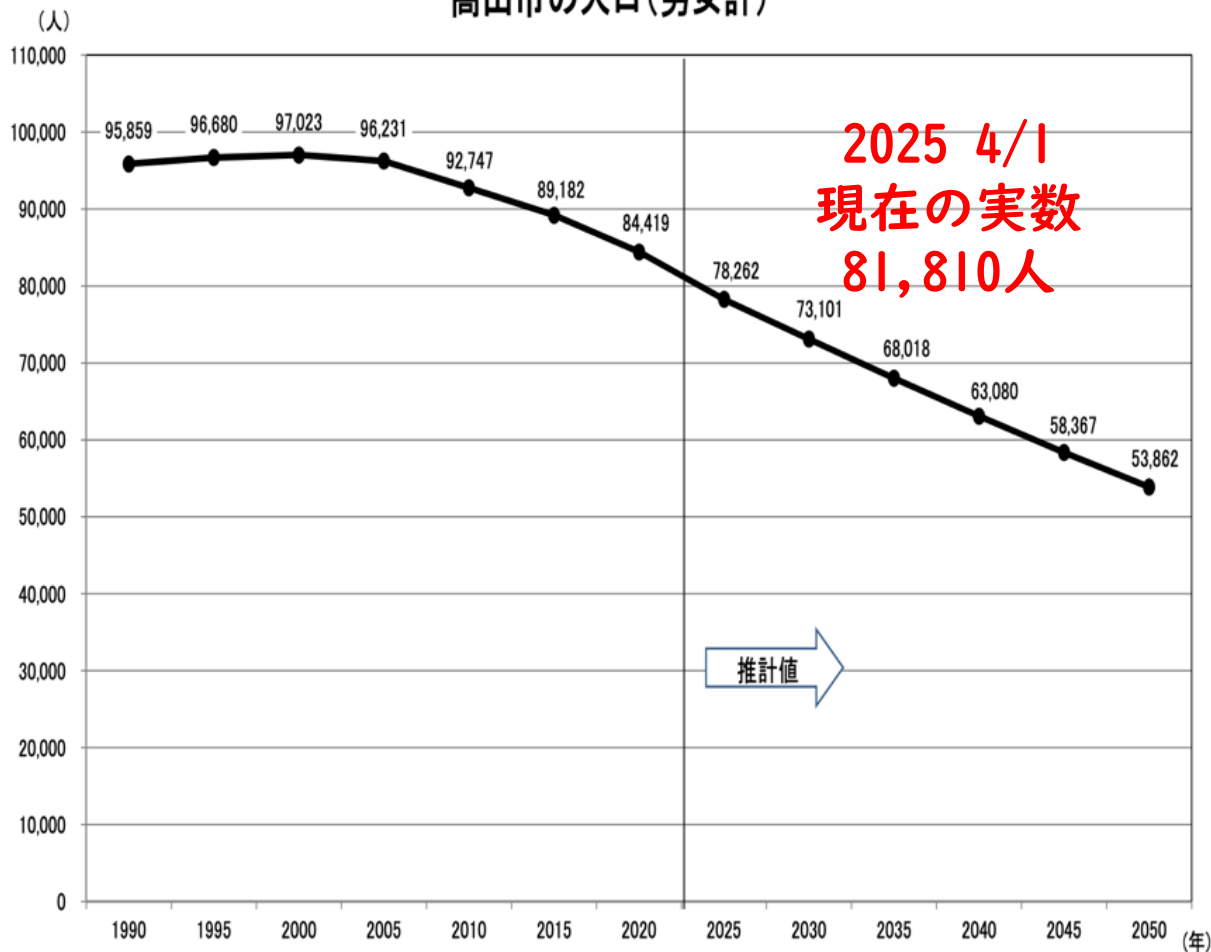
1. はじめに

高山の魅力を理解する人口増加の必要性！

高山市の地域人口減少が深刻

＊0～14歳人口のみ、唯一増加傾向にある

高山市の人口(男女計)

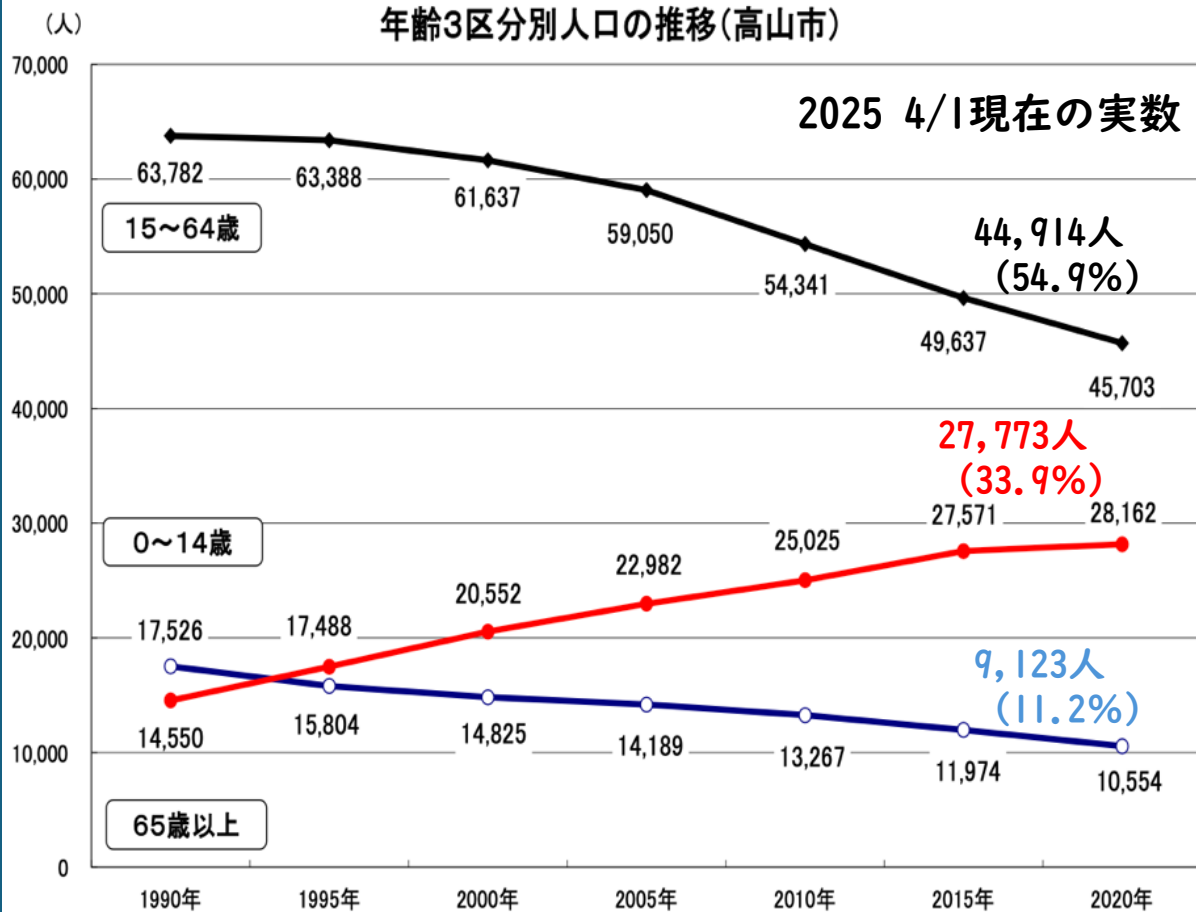


出典:総務省「国勢調査」、2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」

人口の増減数	2010→2015年	2015→2020年
0～14歳	△ 1,293	△ 1,420
15～64歳	△ 4,704	△ 3,934
65歳以上	2,546	591

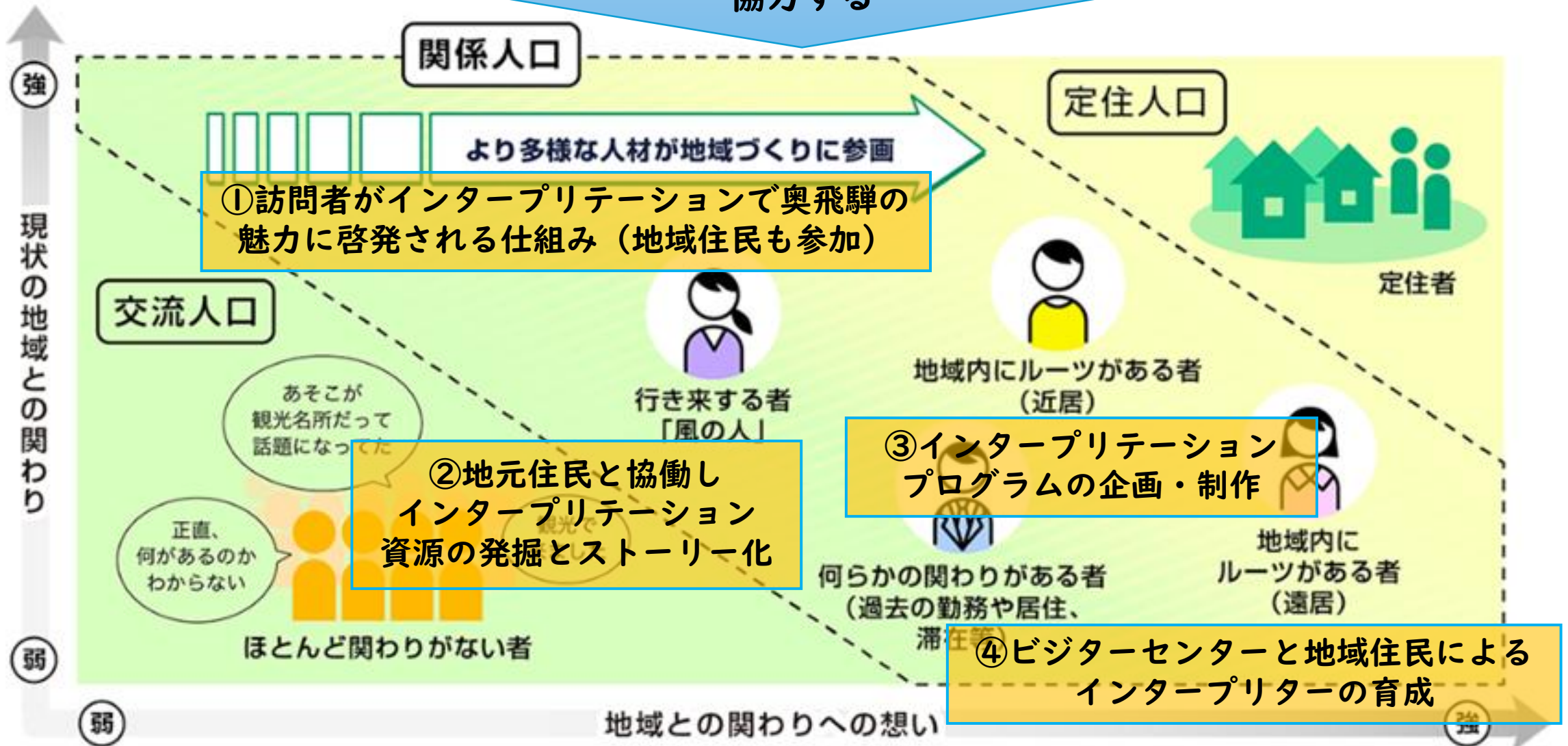
	年齢3区分別人口の割合 (2020年)		
	高山市	岐阜県	県内順位
0～14歳	12.5%	12.3%	18位
15～64歳	54.1%	57.3%	28位
65歳以上	33.4%	30.4%	15位

年齢3区分別人口の推移(高山市)



関係人口を増やすことが鍵に！

大学生が地元住民
とつながり
協力する



目次

飛騨高山の魅力を 発信するための仕組みの提案

- 2. インタープリテーションの導入提案
- 3. 地元住民のインタープリターの育成
- 4. インタープリテーション計画
 - 4.1 インタープリテーション導入への大学生の関わり方
 - 4.2 パートナー住民との協働方法
 - 4.3 パートナー住民との協働の仕組みづくり
 - 4.4 具体的な実施に向けた課題【収入面】
 - 4.5 具体的な実施に向けた課題【安全面】

インタープリテーションとは

自然環境や地域資源、歴史文化や遺産、住民生活慣習を
ストーリー展開によって相手の好奇心を高め、
相手の知的・精神的な向上を促す



対象物に深い理解や保護保全につながるミッションを持つ

2. インタープリテーションの導入提案

都心部の若者（都市部に居住する大学生）が関係人口となり、
地域づくりに参加する手法としてインタープリテーションを
用いる

2. インタープリテーションの導入提案

- ・ 奥飛騨ビジターセンターでの
大学生と協力した地元住民のインタープリターの育成
- ・ ガイドプログラムの企画、展示、屋外での観光資源のサインづくり



3. 地元住民のインタープリターの育成

- ・具体的な育成方法

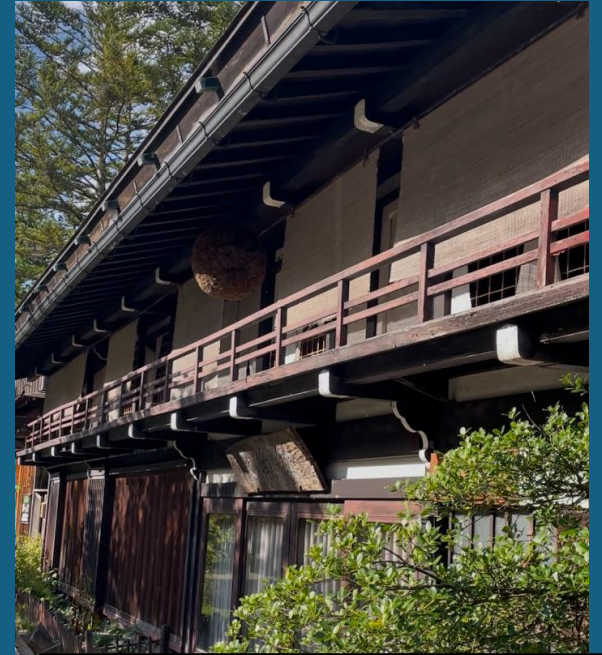
現地住民と大学で自然散策や街歩きを行いながら、
生物種や生態系、生活、奥飛騨らしさを発見できる
インタープリテーションの手法を考える

有料サービスの計画で進める

エリア) 平湯温泉周辺

→ビジターセンターの徒歩圏内や
奥飛騨温泉郷にて、
地元住民が営む

土産屋やカフェを巡る街歩き
飲食や地域住民との会話を
楽しみながら地域の魅力を知る



平湯温泉周辺を訪問
20250901



2. インタープリテーションの導入提案

土産店やカフェなどで店員さんが店の歴史や名物など
地域に因んだものや、土地の生活事情などを話す
→お店での買い物や飲食を行う
(プログラム料金込み or その場で買い物)

自然に詳しい
地域の方が
ガイドとなっ
て自然の魅力
を紹介する↓



4. インタープリテーション計画

訪問者ニーズを
履物別でイメージ



① 革靴・サンダル インタープリテーション

周辺30分コース 料金：500円ワンコイン

→温泉や癒しの観光客 定員：10名

申し込み：当日

- ・散歩的なご近所歩き、気軽さを重視する

② スニーカーインタープリテーション

1時間半コース 料金：1500円

(試食又は簡易体験込み) 定員：10名

申し込み：前日

→自然散策や街歩きを目当てとする観光客

- ・宿からの自然ふれあい型と街歩き型の二方向



4. インタープリテーション計画

③ トレッキングシューズインタープリテーション

車移動コース 4時間程度 料金：6500円程度
定員：5名
申し込み：1週間前



→ 散歩よりもやや本格的な運動量目当ての観光客
・ 軽い登山のため宿から車移動で現地への移動

④ スノーシューズインタープリテーション

車移動コース 1日 料金：8000円程度
定員：5名
申し込み：1週間前

→ 寒さと自然の神秘を体験したい観光客
・ 動物の足跡探し、聴診器での樹液の音を聴く、
新雪で遊ぶ
・ 車または徒歩で1～2時間移動



4.3 パートナー住民との協働の仕組みづくり

研修会：2025年9月1日～3日間（文教大学・愛知大学・松本大学）10名

トライアル実施

- ・インタプリテーション専門家教員による奥飛騨ディスカッション
- ・奥飛騨温泉郷・新穂高エリア・乗鞍岳 散策
- ・平湯温泉周辺の星空観察
- ・3日間のプログラムを動画に起こす
- ・来年度の実施による反省会

→地方学生（松本大学）

都心学生（文教大学・愛知大学）による
山岳への関心の違い

→地元住民へとのお話会のプログラムの作成



4.5 具体的な実施に向けた課題：安全面

- ・ 事故への防止対策・イベント保険（100円前後から加入）
- ・ プログラム参加同意書や運営先の連絡先
- ・ HPからの予約サイト作成
- ・ ビジターセンターでの緊急時連絡体制の整備
- ・ 悪天候時の中止基準や代替プログラムの作成



奥飛騨の自然や伝統文化・生活慣習など、魅力的な
観光資源は十分に観光客に認知されていません。

観光客が気軽に参加でき、

地域住民が自慢の自然や名物を短時間で紹介して、

幾つもの現地の名物に出会える

インタープリテーションガイドツアーが
実現できるように大学生が活躍します！

